


<p>防火標語</p> <p>守りたい 未来があるから 火の用心</p>		<p>発行所 公益財団法人長野県消防協会 (長野県庁西庁舎)</p> <p>〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 TEL (026) 232-5319</p> <p>編集発行人 福澤賢治</p>
---	--	---

長野県消防協会 <http://naganoken-syouboukyoukai.com/>



ポンプ車操法優勝 諏訪市消防団



開始式



ラップ吹奏大会優勝 長野市消防団



小型ポンプ操法優勝 諏訪市消防団

第66回長野県消防ポンプ操法大会
第33回長野県消防ラップ吹奏大会

県消防学校で開催

優勝チーム
 ポンプ車操法 諏訪市消防団
 小型ポンプ操法 諏訪市消防団
 ラップ吹奏 長野市消防団

長野県と(公財)長野県消防協会の共催による大会を7月7日(日)県消防学校で開催しました。諏訪市消防団がポンプ操法の2部門ダブル優勝を果たし、ラップ吹奏は長野市消防団が三連覇を飾りました。県消防学校での開催は昨年に引き続き2回目。大会準備、総務、会場、誘導、駐車場など運営を上下消防協会の上田市、東御市、長和町、青木村の各消防団員約70名が担い、昨年に引き続き県消防学校に入校中の初任科生にもホース撤収などに協力いただきました。

選手はポンプ操法とラップ吹奏に381名、選手関係者、来賓、役員、運営員、観戦者と合わせ約1,800名の参加がありました。

選手の負担軽減と会場及び駐車場の混雑回避のため、あらかじめ決められた順番で入場、競技し、終了後は解散とする入れ替え方式で実施。選手等は、事前の届出により、競技時間にかかわらず会場に入退場できることとしました。

■令和6年度 長野県消防ポンプ操法大会・ラップ吹奏大会結果表

順位	ポンプ車操法	小型ポンプ操法	ラップ吹奏
1	諏訪市	諏訪市	長野市
2	信濃町	立科町	茅野市
3	安曇野市	安曇野市	上田市
4	千曲市	千曲市	安曇野市
5	中野市	豊丘村	駒ヶ根市
6	上田市	駒ヶ根市	木島平村
7	飯田市	川上村	木曾町
8	川上村	池田町	大田市
9	白馬村	王滝村	佐久市
10	大桑村	上田市	下條村
11	駒ヶ根市	飯山市	南相木村
12	立科町	長野市	—

■個人賞

番員	ポンプ車操法		小型ポンプ操法	
	消防団	氏名	消防団	氏名
指揮者	信濃町	佐藤 大	諏訪市	伊藤 慈雨
1番員	諏訪市	藤森 昌哉	豊丘村	菅沼 心太
2番員	諏訪市	伊藤森太郎	川上村	吉澤 賢也
3番員	諏訪市	田中 護	安曇野市	細萱 裕樹
4番員	諏訪市	関 晋作	—	—

優勝チームからの寄稿

ポンプ車操法優勝

諏訪市消防団

消防操法で得るもの

諏訪市消防団第8分団 主将

伊藤 森太郎

操法の大会に勝つこと、また勝ち上がることでいったい何を得られるのだろうか。優勝した我々には、それを他の団や地域や家族に伝えていく使命があると思います。

我々諏訪市消防団は、操法の訓練はどんな災害現場にも通ずる消防団員にとって最も重要な訓練であり、大会とは訓練の成果を披露する場であると考えています。では、その訓練で何を得てきたのでしょうか。それは技術力であり団結力であると思います。選手はもちろん、それをサポート



思いを一つに

トする団員にとっても、例えば水槽への給水や選手への声かけなど、一つ一つの関りが技術力団結力を高めてくれます。消防団が出勤する現場は、どんな小さい火災や水害でも命がけです。そのような場面に直面した時、自分の命を預けることのできる仲間をもつことは簡単ではありません。今回県大会に出場したどの隊も、気迫がある迅速、正確、安全な操法を披露されていました。それぞれが県大会に挑むにあたり質の高い訓練をされてきたことと推察され、その全ての隊が称賛されるべきだと思います。当然、それ以前の各協会の大会や市町村の大会で敗退した隊も同様です。全ての隊やそれをサポートする団員は、この操法訓練の期間を通じて、他では得ることのできない部隊行動、操法技術、そして団員同士の絆を培うことが出来たはずで

す。わが隊は優勝という栄誉はもちろ

んのこと、優勝を目指す訓練の過程で、どのような災害現場においても自らの命を預けられる信頼できる仲間を得ることが出来ました。

もちろん、この度の長野県消防ポンプ操法大会において第1部優勝を

果たすことができたのは、家族や仲間たちそして地域の皆さんの支えのおかげでありました。操法の訓練はどんな災害現場にも通ずる消防団員にとって最も重要な訓練であるとの認識を家族や地域の方と共有し、その火点の向こう側に守るべき家族や地域があることを決して忘れることなく、我々はこれからも操法の訓練を続けていきたいと思っています。

小型ポンプ操法優勝

諏訪市消防団

県大会を振り返って

諏訪市消防団第8分団 主将

田中 晃二郎

県大会まで、私たちを支えて下さった全ての皆さんに心より感謝申し上げます。諏訪市消防団は、昨年度もポンプ操法第2部において県大会へと駒を進めました。結果は4位入賞。目標としていた優勝には届きませんでした。当時、私は2番員として出場し、悔し涙を流した事を覚えています。今年度は、自身が主将という立場として、チームをまとめる事になりました。

新年度、操法訓練を開始するにあたり、私が入団した当時の、上長の言葉を仲間々に伝えました。「操法訓



仲間と共に いざ!

練は、新体制となった組織のチームワークを高める訓練。上位大会出場という結果にこだわる事も大切だが、訓練の過程で技術、知識をしっかりと習得していく事が、地域の消防力向上につながる。主将という立場となり、何のために操法訓練を行うのか、仲間と共通認識を持った上で、操法訓練に取り組んできました。高い技術を持ったベテラン団員、操法経験の浅い団員がチームを組織し、知識や技術を高めてきました。県大会に進むにあたり、選手以外の団員も素晴らしい訓練環境を作ってサポートして下さいました。消防活動は、団員一人一人が仕事やプライベートの時間とは別に活動を行います。特に操法訓練においては、早朝訓練や夜間の器具点検など、操法に負担を感じるといっても、然だとも考えます。それでも、操法訓練を通じて得る、仲間や地域とのつながりは、個人としても、地域と

しても大きな財産になると思っています。

県大会で優勝できたのは、家族をはじめ、支えて下さった全ての皆さん、そして高い目標を持って訓練に励んだチームメイトの姿があつてこそです。目標に向かって一生懸命頑張る姿は、人の心を動かすのだと、チームメイトの姿を見て感じました。ありがとうございます。

諏訪市消防団は、第1部においても優勝し、全国大会出場の切符をつかみました。私たちの操法訓練は一区切りとなりましたが、今後も諏訪市消防団として力を合わせていきたいと思っています。

ラッパ吹奏大会優勝 長野市消防団 大会を振り返って

長野市消防団音楽隊長

佐當 一行

一昨年の県大会は、新型コロナウイルスに振り回されながら慌ただしく過ぎた中でも、隊員の努力と皆様の支えにより優勝という結果を残すことができました。昨年は例年通りの日程でした。練習することができ、落ち着いて大会に臨むことができました。いろいろな苦労などあ



皆様の心に響くように

りましたが、3年連続の優勝という成績を残すことができました。

そして今年私が隊長になり初めての大会で、前隊長の功績にプレッシャーを感じながら臨みました。体育館での競技は2年目となり、建物内の吹奏にも慣れてきましたが、日程が例年より1週間ほど早くかなりそれに伴う体制づくりも早く行う必要がありました。

隊員の中で昨年までと同じ指導者にお願ひして、大会に臨む隊員集めから始め、主将、ラッパの吹奏者、打楽器奏者、指揮者の選定にあたりま

した。そして引き続き同じ指導者が担当することができて、より高度な取り組みもできたと思っています。また、さらなる向上心を持ち新しい曲にも挑戦しました。曲全体をイメージし段々と覚えながら徐々に全体を通して演奏ができるように仕上げていきました。課題曲、昨年と同

大会を支えていただいた人たち



前日準備 テント設営する 上小の各消防団員の皆さん



排水作業とホース撤収 上小の消防団員と初任科生の皆さん



ホース点検 上小の消防団員と審査員



地域の代表に熱い視線 操法を応援する消防団幹部、団員の皆さん



ラッパ吹奏審査員の皆さん



ポンプ操法審査員(消防学校、県下全消防本部)の皆さん

じ自由曲は、皆様の心により響くよう更に上を目指して取り組みましたが、考えているようにはうまくいかず苦労の毎日でした。仕事終わりの短時間での練習には隊員全員が揃うことが難しい状況でした。そんな状況でありながら今年も優勝することができたことは隊員の自信につながり、今後の音楽隊そして消防団員としての活動に活かしていけると思っ

ています。寝る間を惜しんで頑張ってくれた隊員、隊員を支えてくれたご家族、何度も激励にきていただいた団本部やOBの皆様、協力していただいた地域の皆様、そして消防局の皆様、大勢の方に支えられ私達音楽隊は大会に臨むことができ、結果を残すことができました。改めまして皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。



福澤会長あいさつ

講演では、講師に県立こころの医療センター駒ヶ根の公認心理士北澤夕紀子氏を招き、「サイコロジカルファーストエイド災害時におけるこころの

第14回長野県消防団長・事務主任研修大会
第3回長野県女性消防団員活性化大会開催
10月6日(日)第14回長野県消防団長・事務主任研修大会と第3回長野県女性消防団員活性化大会を合同で開催しました。大会には、消防団長、女性消防団員及び事務主任、地区協会幹事等合わせて226名が出席。来賓として、県議会から続木幹夫副議長及び県消防長会から西澤尚会長に御臨席をいただきました。

第14回長野県消防団長・事務主任研修大会 第3回長野県女性消防団員活性化大会開催



ポンプ操法・ラッパ吹奏大会表彰式

講演に先立って、今年度の県消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会の表彰式及び県消防団協力事業所等知事表彰式を行いました。(知事表彰の趣旨、受賞者名簿は県消防課ホームページをご覧ください。)

講演では、講師に県立こころの医療センター駒ヶ根の公認心理士北澤夕紀子氏を招き、「サイコロジカルファーストエイド災害時におけるこころの



講演会でのロールプレイ

ロールプレイなども体験。県女性消防団員活性化会議の徳武会長は、閉会のあいさつで「本日の研修成果を各消防団の仲間と共有し、活動の活性化に役立ててほしい」と述べました。

大会では、パネルディスカッション、ステージ発表、展示発表などが行われ、会場は女性消防団員らの活気があふれました。参加された皆さんが大会で得た熱意や活動事例を参考に、地域で益々活躍されることが期待されます。



パネルディスカッション

9月19日(木)総務省消防庁、(公財)日本消防協会等の主催による全国女性消防団員活性化とちぎ大会が宇都宮市で開催され、全国から約2,900名の女性消防団員をはじめ関係者約3,200名、長野県からは16の消防団の幹部、女性消防団員と県消防課、正副会長合わせて117名が参加しました。

第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会に参加



福澤会長式辞

来賓として前沢県危機管理監兼部長、小野県消防課長、吉原県消防学校長及び渋沢消防防災航空センター所長が出席。開催当番である当協会からは福澤会長、副会長

9月4日(水)県消防長会との共催による県消防関係殉職者慰霊祭を長野市花岡平の「殉難消防組員の碑」前で行いました。

長野県消防関係殉職者慰霊祭実施



正副会長、県女性消防団員活性化会議メンバーの皆さん



御遺族による献花

会館の最初の行事として執り行う感激をかみしめながら、新会館活用、殉職事故防止、消防活動の一層の発展に努力すると述べました。

全国消防殉職者慰霊祭が、10月3日(木)、新たに完成した日本消防会館ニッショールホールで行われました。慰霊祭には、全国から御遺族代表、消防関係者、県内からは福澤会長と御遺族2名が参列しました。消防殉職者の御霊は5,790柱。日本消防協会秋本会長は、慰霊祭を新

第43回全国消防殉職者慰霊祭行われる

及び福利厚生委員等、県消防長会からは、西澤会長はじめ各消防局長・消防長が参列しました。